

令和4年5月13日(金)
国土交通省関東地方整備局
河川部
利根川下流河川事務所
茨城県土木部河川課
取手市総務部安全安心対策課

記者発表資料

茨城県取手市(利根川)で水防演習を開催します ～第70回利根川水系連合・総合水防演習～

第70回利根川水系連合・総合水防演習を以下のとおり開催しますので、お知らせします。

- 開催日時 令和4年5月21日(土) 午前9時～(演習開始)
- 開催場所 茨城県取手市東地先 利根川左岸 83.0km付近(取手緑地運動公園)
- 演習内容 別紙をご覧ください。

利根川水系連合・総合水防演習は、昭和22年のカスリーン台風による未曾有の被害を教訓として昭和27年から開催しており、国土交通省及び関東地方の1都6県(茨城県・埼玉県・千葉県・栃木県・群馬県・東京都・神奈川県)並びに開催市町村の主催により、毎年、利根川水系の河川において水防及び救出・救護等に係る総合的な訓練を実施しています。

この水防演習の様様については、インターネット上でライブ配信を行います。詳細については、利根川下流河川事務所ホームページをご確認いただき、ご覧いただけます。

なお、本演習は新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した開催のため、事前申込された取手市民の方を除き、一般の方の来場はできません。

また、来場した際には、受付に設置されているアルコール系の消毒液による手指消毒や会場内でのマスクの着用をお願いします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、
刀水クラブ・テレビ記者会、埼玉県政記者クラブ、千葉県政記者会、都庁記者クラブ、
神奈川県政記者クラブ、取手記者会

お問い合わせ

- 国土交通省関東地方整備局 河川部水災害対策センター 課長補佐
上原 舞 TEL 048-601-3151
うえはら まい
- 国土交通省関東地方整備局 利根川下流河川事務所 副所長
田所 百年裕 TEL 0478-52-6361
たどころ もとひる
- 茨城県 土木部河川課 水防災・砂防対策室 室長補佐
佐田 朋義 TEL 029-301-4490
さだ ともりの
- 取手市 総務部 次長 兼 安全安心対策課長
斉藤 理昭 TEL 0297-74-2141
さいとう まさあき

「第70回利根川水系連合・総合水防演習」取材のご案内

第70回利根川水系連合・総合水防演習を、令和4年5月21日（土）に茨城県取手市東地先（利根川左岸83.0km付近）にて開催いたします。

本演習は、出水期を迎えるこの時期に地域を守る水防団（消防団）の士気の高揚、ならびに水防技術の向上、後継者の育成による技術継承はもとより、避難訓練により地域住民の防災意識を高めることで水防体制に万全を期すことを目的として開催されます。

利根川水系連合・総合水防演習は、昭和27年に初めて開催されて以降、「茨城県、埼玉県、千葉県、栃木県、群馬県」の5県で交代して毎年実施しているものであり、今年度は演習参加者、来場者合わせて約1,500人を見込んでいます。

【演習内容】

- 開会式（9:00～）
- 第一部「水防訓練」（9:30～）
 - 水防訓練：取手市水防団による水防訓練（水防工法等）
取手市自主防災会による自衛水防訓練
（取手市女性消防分団等の技術支援による）
 - 避難訓練：自主防災組織による避難訓練
災害時要配慮者利用施設の避難訓練
WEBによる沿川自治体とのホットライン訓練
- 第二部「救出・救護訓練」（10:55～）
 - 航空機による被災状況把握
 - 救出・救護訓練（渡河ボート等による救出訓練）
 - 被災調査訓練：ヘリコプターによる被災状況調査
 - 重機による障害物除去訓練
- 閉会式（11:45～）

「第70回利根川水系連合・総合水防演習」を取材頂きますようご案内申し上げます。なお、取材にあたっての留意事項は、別添「取材申込書」をご参照ください。

<※お願い>

当日取材の際には、報道関係者受付にてご記帳頂き、自社の「報道」腕章を着用していただきますよう、ご協力をお願いいたします。（報道関係者と判断できない場合に、念のため巡回の職員がお声がけさせて頂く場合がございます。）

～水防演習の歴史について～

昭和10年の利根川の大洪水を契機に、河川改修と水防の強化について内務省の土木会議が『水害防備策の確立に関する件』を決議しました。これを受け昭和14年には、利根川各地の水防団が集まり、指導者の育成と水防技術の向上を目指した合同の水防演習が開催されましたが、戦争が進むにつれてこの水防演習は全く行われなくなりました。

この様な状況のなか、終戦後の昭和20年代前半には戦争で疲弊した日本を、カスリーン(S22)、アイオン(S23)、キティ(S24)という大型台風が、毎年のように襲う事となります。特に昭和22年のカスリーン台風では、利根川右岸堤防が決壊し埼玉県・東京都の東側半分を水没させる大惨事となりました。

戦争に疲れ、水防工法すら忘れ去られていた利根川流域では、多大な被害が発生し、水防活動の必要性と水防演習の重要性が、あらためて叫ばれるようになりました。

昭和27年、第1回目の利根川水系連合水防演習が、カスリーン台風によって利根川が決壊した埼玉県北埼玉郡東村（現加須市新川通）において、建設省（現国土交通省）、1都5県、（社）日本河川協会（現公益社団法人日本河川協会）の主催で、500人の水防団が集まり開催されました。

以来、台風の来襲による2度の中止や東日本大震災による中止、新型コロナウイルス感染拡大による延期及び中止があるものの、利根川の沿川五県（茨城県、埼玉県、千葉県、栃木県、群馬県）の持ち回りで、毎年実施されております。

(別添)

取材申込書

取材を希望される方は、事前にご登録をお願いします。

FAX送信期限：令和4年5月19日（木）15：00まで

FAX送付先：国土交通省 関東地方整備局 河川部 水災害対策センター しおのや うえはら 塩谷、上原

FAX番号：048-600-1428

※取材にあたっての留意事項について

1. 本演習はコロナ禍のため感染防止対策を徹底した上で実施します。来場の際には会場内でのマスクの着用及び会場に設置したアルコール系消毒液で手指消毒をお願いします。
2. 演習実施中は、会場内カメラ撮り可。
3. 会場入場の際し、入り口にて一般車両の通行を制限しております。
4. 入場の際には、記者証又は社員証の提示を求められることがあります。
5. 報道関係者は、当日会場入口にて受付をお願いします。
6. 訓練会場では、社名入りの腕章を着用願います。
7. 訓練に支障のない範囲で撮影取材が可能です。撮影場所など係員の指示があった場合には、その指示に従って下さい。
8. 気象状況やコロナ感染状況等により演習が中止となる場合があります。
9. 取材にあたってご不明な点等ありましたら、演習前日の5月20日（金）17：00までに記者発表資料に記載の問い合わせ先までご連絡をお願いします。

◆報道機関名

<hr/>

◆取材者

1) 代表者

2)

3)

◆連絡先（代表者の連絡先）

<hr/>

(備考)

上記の「◆連絡先（代表者の連絡先）」には、取材当日に連絡可能な連絡先を記入して下さい。
(取材当日、演習の中止等が生じた場合には、演習当日5：30までに連絡します。)

第70回利根川水系連合・総合水防演習 会場周辺案内図

- ・JR 常磐線・関東鉄道常総線「取手駅」東口より2番バス乗り場乗車
「片町」下車 徒歩約7分
- ・常磐自動車道「谷和原 IC」より車で約 40 分

